

令和5年度 第1回沼津市幼保小連携協議会 報告

1 日 時

令和5年7月7日（金）14:30～16:15

2 場 所

沼津市役所 水道部庁舎 3階会議室

3 出席者

小口 芳夫（大平小学校 校長） 蓮池 千春（金岡小学校 教諭）
古屋 徳恵（香貫小学校 教諭） 角田 善恵（愛鷹小学校 教諭）
相原 恵（大平幼稚園 主任教諭） 釜原 茜（愛鷹幼稚園 主任教諭）
眞野 裕輝（原町幼稚園 主任教諭） 長澤 あすか（西浦保育所 副所長）
松尾 ふみこ（霊山保育園主任保育士） 宮ヶ丁 恵美（しんあい保育園 主任保育士）
杉浦 敬子（幼保連携型認定こども園杉浦学園 副園長）
後藤 信俊（幼保連携型認定こども園こずわ幼稚園 園長）
教育企画課、学校教育課、教職員研修センター、子育て支援課（事務局）

4 協議内容

令和5年度沼津市幼保小連携合同研修会について及び今後の取組について

（事務局より）

令和5年6月21日に開催した沼津市幼保小連携合同研修会でのアンケート結果を踏まえ、次年度の研修内容の検討、今後連携をさらに推進していくためにどのような取組をするとよいか。

（主な意見）

6月21日開催沼津市幼保小連携合同研修会について

- （幼保）ずっと連携協議会で代表者が集まってきた。資料等を自校（自園）に持ち帰り、共有してきたが、なかなか浸透することが難しかったので、今回合同研修会を開催できたこと、形になったことは大きな一歩になった。
- （幼保）講話が、幼保小両方に向けた内容でとてもよかった。
- （小）講演の内容が大変よかった。幼稚園などに参観に行くが、ただ見ているだけではねらいがわかりにくい。10の姿をもとにした視点について提示してくださったので、幼児教育に対する理解が深まった。
- （幼保）直接会って話をするすることで、連携が進んでいく。コロナ禍で途絶えていたので再開するきっかけになった。
- （小）小学校から保育園に参観に行くことが実際に決まり、有意義なものになった。
- （幼保）顔を合わせて話をするのができたので、連絡は取りやすくなったのではないかな。
- （小）普段の授業の日にいつでもかまわないので、幼保の先生方に参観に来ていただきたい。幼保の時と様子が違っているとか、どんな対応をするとよい、といったアドバイスをいただきたい。
- （幼保）つながることで卒園した子供の様子がわかるのは嬉しいし、小学校の先生方と成長を共有できる喜びもある。幼保小で話すことでわかることがたくさんある。
- （幼保）今回の参加者は、幼保小接続に中心となっている先生が多かった。（年長の先生や1年生の主任）しかし、本気で連携していくのであれば、まずは校長先生や園長先生などに講話を聞いてもらったり、ブロック別でこんな連携をしていこうと話したりしてもらいたい。参加した人だけでは、学校や園の予定を変えられない。連携体制が整ってから、中心となる方々に移行していく方がよいと思う。どうしても立場が下の先生が決定しても、進まないのが現状だと思う。
- （小）小学校1校に対し、複数の園と連携する難しさがある。
- （小）多くの園と連絡をとるのは、時間がかかり電話ではつながらないこともある。一斉に連絡

できる方法があるとよい。

- (幼保) 会に参加する人の意識は高まった。他の職員の意識も変えていくことが必要。
- (小) 連携をする日はピンポイントで決めるのは無理があるだろうから、連携週間のように時期を示してほしい。(実際にやるかどうかは園と学校に任せればいい。)

次年度の幼保小連携合同研修会について

- (幼保) アンケートの結果を公開し、次の研修会に生かしてほしい。
- (小) 具体的な連携の好事例をもっと知りたい。
- (幼保) 参加しなかった人にもこの研修会の価値や課題を共有できるようにしてほしい。
- (幼保) 講演を録画して、配信してほしい。(園でも観たかった。)
- (幼保) ブロック別の連携協議会は、もう少し時間が欲しかった。他の学校と話がしたかった。フリートークの時間を設定できたらいい。
- (幼保) 質問したいことを、事前に知っておけると限られた時間の中でもたくさん情報共有ができる。年長の担任に、聞いておきたいことをリサーチしておける。
- (幼保) ブロック別連携協議会では、スタートカリキュラムや年長のカリキュラムを持ち寄り、話し合いたい。小学校の現状が知りたい。
- (幼保) 幼保を小学校の先生方の研修に活用してほしい。今は2年目の先生だけだが、もっと多くの園で、また、様々な経験年数の先生とも研修をしていきたい。
- (幼保) 保護者対応についての講演も興味がある。
- (小) 沼津市内の他地区の実践などを知りたい。
- (小) 動画を見て、幼保小の子供の姿のイメージを共有したい。小学校の生活、園の生活の様子を見合うことも価値がある。

今後の取組について

- (幼保) スタートカリキュラムや年長後半のカリキュラムを送付し合うといいのでは。
- (幼保) スタートカリキュラムに書かれていることが幼保からすると難しいし、子供の姿がイメージできない。動画で紹介してほしい。それを園での学校ごっこなどに利用することもできる。
- (小) 1学期の早い時期に、小学校から連携する必要のある園に、参観依頼を出す。園の数が多ければ、数回に分ければよい。(FAXで依頼すれば一度に多くの園に送ることができる) 実際に来るかどうかは、事前に返答はなくてもよいから、来ることができる園だけ来てもらう。そのくらい気軽に来てほしい。
- (小) 小学校としては、夏休み中に幼保の生活の様子を見ていきたい。
- (小) 入学説明会に幼保の先生方にぜひ来てもらいたい。そこで、保護者にいろいろなお願い事や入学までにできるようになってほしいことを伝えている。
- (幼保) 小学校に声をかけてもらえると行きやすい。
- (小) 思い切って、「幼保小連携基準日」のようなものを設け、参観後に協議する、という日があってもよいのではないか。そうすれば、1年生の担任だけでなく、たくさんの教員が幼保へ参観に行ける。1人で参観し、それを学校全体に広めていくのは意外と難しい。